

令和2年度北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：帯広地区
- 2 事例報告学校名：帯広市立大正小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 和田 尚史
- 4 キーワード：地域・保護者との連携・協働

1 はじめに

帯広市立大正小学校は、明治33年開所の幸震簡易教育所を前身とし、大正地域6校の統合を経て、新しい大正小学校として誕生している。大正地域は、十勝平野の中央部よりやや西寄りに位置し、日高山脈から十勝川に向かってできた大地と扇状地、川沿いの低地によって形成されている。帯広市のフードバレー構想において大切な役割を果たしており、当地の特産物「大正メイクイン」は、全国的に有名である。地域・保護者は、学校教育にたいへん協力的であり、多くの方々の温かい支援を受け、子どもたち112名は、素直にのびのびと成長している。本レポートでは、地域、保護者との連携・協働に基づいた実践について報告する。



2 農園を活用した食育の取組

(1) 畑の先生とのふれあい「じゃがまる農園活動」

本校の特色ある教育活動の大きな柱に食育の取組がある。その基盤となっているのが「じゃがまる農園活動」である。他校には類を見ないような広大な農園に学年に割り当てられた作物を栽培し、系統的に学んでいる。種植え、播種から、観察・お世話、収穫という流れを畑の先生方とのふれあいを通して、土と汗にまみれて体験していく。新学習指導要領の導入に基づき、学習内容を重点的、効率的に整理し、カリキュラムを再編成した。畑の先生方の丁寧な指導により、一人一人の体験的な活動は充実し、子どもたちの豊かな心情を育むことに繋がっている。



(2) 学習の発信の舞台「メイクイン祭り」

大正地区にはメイクイン祭りという地域のお祭りがある。開会式のメインイベントとして、食育学習の発信の機会が設けられている。会場は、地域、保護者をはじめ大勢の来場者でにぎわい、子どもたちの発信に向けての意欲が高まる。この日



に向けて、担当した作物の栄養、歴史、種類、流通など、学年の発達段階に合わせて様々なことを学んでいく。そして、学習内容を整理し、当日は、会場にいる多くの方々に向け、学年全体で学習の成果を表現する。特に6年生は、最高学年として発表全体に関わり、リーダーシップを発揮している。

(3) 食を体感する「食育出前授業」

3年生から6年生までは、食育学習のまとめとして、それぞれの作物のテーマに合わせて、スイーツ、ピザ等の出前授業を行い、食を体感する。講師の先生方との交流を通して、「素材の素晴らしさ」「作り手の思い」など、一年間を振り返り考えていく機会としている。6年間を通して学んだ成果は、中学校の学習へとつなげていく。

3 図書ボランティアと連携した取組

本校の読書活動推進に関わり、図書ボランティアの取組が大きな役割を果たしている。基本的には、保護者の方がほとんどであるが、地域の方々にも参加していただいている。子どもの読書離れが心配されている中、図書ボランティアの幅広い活動は、子どもたちが本に親しむための大きな一助となり、子どもたちの豊かな心情を育むことに繋がっている。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できていない取組も多いが、図書ボランティアは、大きく三つのグループに分かれ、本校の読書推進活動の取組と連携し、それぞれの目的に合わせて精力的に活動を進めている。

(1) 「平日の部」の取組

月に2回程度、平日の午後から2時間にわたって図書室内の本の整理や修理などを行っている。おすすめの本などを分かりやすく提示したり、季節にあった飾り付けをしたりするなど、図書室が楽しい空間であるように工夫している。

(2) 「土曜日の部」の取組

毎月1回を基本に学校図書館開放を行っている。テーマに併せた読み聞かせやミニ工作など、物語の想像の世界を広げていくための工夫を大切にしている。

(3) 「大きなエプロン（読み聞かせの会）」の取組

月に1回、朝の学習の時間に各学年の教室で読み聞かせを行っている。また、参観日には、昼休みに図書室でおはなし会を実施している。

(4) 紙芝居研究会「かぜるん」の取組

図書ボランティアと紙芝居研究会「かぜるん」による紙芝居公演の取組を行っている。各学年担任が設定したテーマに沿って題目を選び、当日は、それぞれの演じ手の方の真剣で熱い思いの込められた紙芝居が披露される。例年、迫力があり、心に響くすばらしい公演となり、どの学年の子どもも真剣に紙芝居に見入る姿が見られる。かぜるん公演は、今年度で14年目を迎える。継続した取組が子どもたちの物語のイメージの世界を広げていく力の高まりにつながっている。



4 教育環境の整備に向けて

安全で整った学習環境の整備は、学習効果を高めいく上で必要不可欠である。地域・保護者は、様々な環境整備に関わっているが、特に、リンク造成には力が入っている。例年、多くの保護者が時間をかけて広く、鏡のように整備されたリンクに仕上げている。また、授業においてもスケートボランティアの方々の協力をいただき、個に応じた丁寧な指導を進めている。シーズンを終わると、一人一人の子どもにとってスケートの技量だけでなく、成就感の高まりにもつながっている。



5 おわりに

全国学力・学習状況調査質問紙結果から、「夢をもっている」「人の役に立ちたい」等の項目は例年とても高い結果となっている。地域・保護者と連携した教育活動による成果であり、子どもたちに豊かな心情が育まれていると考えている。

令和元年度、本校を含めた近隣の3校によるCSがスタートした。地域、保護者、学校が、取り組んできた特色ある教育活動を再整理し、その教育的価値を再確認し、一層の連携と協働を進め、地域に根ざした教育活動の継続に努めていきたい。